海外事業

当社では成長エンジン事業として、日本で培った水力発電技術を活かし、海外でも水力発電事業及びコンサルティング事業を行っています。

JETRO（経済産業省）、JICA（外務省）、環境省の支援、並びに富山市が「環境未来都市」普及展開の施策を行っている都市間連携協定をベースに支援を受けながら、再生可能エネルギーの海外展開を図っています。
当社の海外事業は、2016年11月にインドネシア企業と合弁でPT. Lebong Sukses Energi を設立し、インドネシアブングル州での水力発電所（13,000kW）の開発を始め、2019年4月には、開発・技術検討・施工管理等、海外水力発電事業の体制を強化するため、インドネシアジャカルタに現地法人PT. NiX Indonesia Consulting を設立しております。また2019年11月には2号目の海外自社水力発電事業としてPT. Optima Tirta Energy を設立し、インドネシア西スマトラ州での水力発電所（6,200kW）の施工に取り組んでおります。
そして、海外事業の統括拠点であるNiX Holdings Singapore Pte.,Ltd を通して、再生可能エネルギーの導入に向け、ミャンマーやマレーシア等他の東南アジア地域への事業展開も視野に入れ、案件の発掘を行っています。
人材についても、現地法人所属のインドネシア人技術者の他、日本本社でも新卒の外国人エンジニアを定期的に採用しており、今後もグループとして更なる海外事業展開を図っていきます。今後も水力を中心とした再生可能なエネルギーの電源開発を強化することにより、当該国の経済成長や持続可能な環境整備へ寄与したいと考えます。

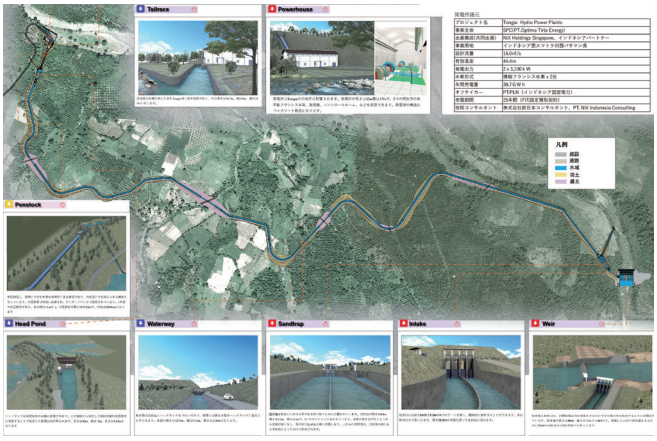
インドネシア

[自社事業] トンガル水力発電所（建設中）

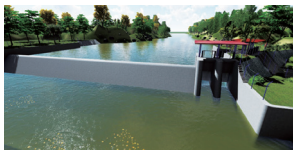
2019年11月に、NiXグループのNiX Holdings Singapore Pte.,Ltd（シンガポール持株会社）を通し、事業主体であるPT. Optima Tirta Energy社の株式を取得し、現在は、マジョリティとして施工に取り組んでおります。
本事業では、再設計・エンジニアリングを行ったNiX現地法人を中心とし、NiXグループが工事施工監理を行うことで事業費削減及びリスク低減を図ります。

場所	西スマトラ州	内容	現地パートナーとSPCを設立 6,200kW水力発電所建設中

プロジェクト名	Tongar Hydro Power Project	事業主体	SPC（PT. Optima Tirta Energy）
出資	NiX Holdings Singapore Pte.,Ltd	事業用地	インドネシア西スマトラ州 西パサマン県
最大使用流量	16.0m³/s	有効落差	44.4m
発電出力	6,200kW	水車形式	横軸フランシス型水車×2基
年間発生電力量	38.7GW h （インドネシア一般家庭 46,000 軒分）	オフテイカー	PT. PLN （インドネシア国営電力会社）
売電期間	25 年間（FIT: 固定買取契約）	技術コンサルタント	株式会社新日本コンサルタント、 NiX Indonesia Consulting



取水堰

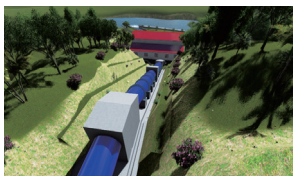


取水堰と取水口は、計画発電出力を発生させるのに十分な量の水を取水するように計画されています。
取水堰の長さは49m、高さは河床から4mです。堆積した土砂や石を排出するために幅2mの土砂吐きが2か所設けられています。

導水路

導水路は沈砂地とヘッドタンクをつないでおり、発電に必要な水量をヘッドタンクに送ることができます。水路の長さは3275m、幅は9.12m、高さは2.56mとなります。

水圧鉄管



水圧鉄管は、発電に十分な水量を発電所に送る鉄管であり、内水圧に十分耐えられる構造となっています。水圧鉄管は地表に設置され、アンカーブロックで固定されています。1系統の水圧鉄管があり、各系統は16m³/s。水圧鉄管の長さは99.28mで、内径は2800mmとなります。

発電所

発電所はトンガル川の右岸に配置されます。発電所の長さは32m、幅は17mで、2つの同出力の水平軸フランシス水車、発電機、コントロールルーム、などを収容できます。発電所の構造はコンクリート構造となります。